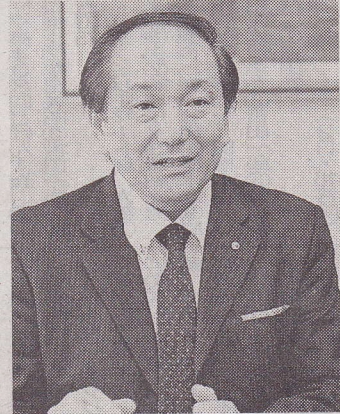


bjリーグ 鹿児島プロバスケット 来年の参入見送り



「地域を盛り上げたい」と話すbjリーグの中野秀光社長—南日本新聞会館

バスケットボール男子のbjリーグは、同リーグ参入を目指している「鹿児島

プロバスケットボール(鹿児島市、井口基史社長)について、13日までに2012年の参入を見送った。中野秀光同リーグ社長が「地域を盛り上げるのがわれわれの役割。地元の熱意は感じたが、調整すべき点がある」と明らかにした。

鹿児島市の南日本新聞社を訪れた中野社長は「来年の審査で通るようになりたい。13年の参入を目指す候補の中では最有力だ」と話した。同リーグの江島彰弘広報宣伝部マネジャーは「後日、参入見送りの理由を正式発表する」としている。鹿児島県協会の増留貴朗

会長は「13年に新たに参入を目指すのであれば、ゼロから話し合いをしていきたい。日本協会が進めるリーグ統合を慎重に見極め、県

バスケット界の進路を誤らないようにしたい」とコメントした。「鹿児島プロバスケットボール」の井口社長は、10

年に初めて参入申請したものの認められず、11年1月に再び申請した。7月には、河内敏光同リーグコミッシヨナーが薩摩川内市のサン

アリーナせんだいなどを視察。7月の新規参入チームの発表では継続審議となっていた。